

交通結節点の改良により、街の魅力が向上

目的	<ul style="list-style-type: none"> ・JR、バス、路面電車の乗り継ぎ利便性の向上 ・交通渋滞の解消 ・交通安全の確保
地域	広島県広島市 JR横川駅前
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・乗り換え時間が約3分短縮し、利用者の満足度が向上 ・路面電車利用者が1.7倍に増加 ・交差点通過時間が約6分短縮 ・事故件数が約4割削減 ・地元住民によるイベントの開催
工夫	・事業間連携による事業の円滑化、投資の効率化、相乗効果の発揮
取り組み時期	平成15年度
取り組み主体	国土交通省 中国地方整備局 広島国道事務所



STEP1

取り組みの背景は？

◆ 広島市のJR横川駅前周辺は、JR、バス、路面電車が集中する公共交通の結節点です。しかし、JR横川駅と路面電車の電停が離れているため乗り継ぎが不便、電停が国道内にあり横断が危険、などの問題がありました。また、横川駅前交差点は形状が複雑であること、車線数が不足していることなどから、事故や渋滞などの問題も抱えていました。

JR横川駅前における課題

【整備前のJR横川駅前】

JR横川駅 ~ 電停間の距離が長く乗り継ぎが不便

【JR横川駅前における課題】

電停～駅間の乗り継ぎが悪い
電停への横断が危険
国道54号

主交通である国道54号方向の車線が2車線→1車線に減少。
直進車と横川駅流入車両が混在。

渋滞が発生
電停
横断が危険

道路中央に電停があるため、事故や渋滞の原因となっている

STEP2

取り組んだ内容は？

- ◆ JR、広島電鉄(株)、広島県營、国土交通省等が連携し、JR横川駅前交通結節点改良事業を行いました。
- 1) 国道54号の車道中央部に設置されている電停をJR横川駅構内に移設。移設した電停付近には大屋根を整備。
 - 2) 電停の移設ともなって、2車線から1車線に減少している主交通の車線を増設。上下方向合わせて、4車線から7車線に。

整備内容と整備後の様子

【整備後の横川駅前】

電停をJR横川駅構内に移設

【電停移設・交差点改良の計画内容】

横川駅出入口の変更
電停を横川駅構内に移設
国道54号

国道54号が4車線→7車線に

旧電停の位置
7車線

国道54号の車線を増やす

STEP3

その結果は？

- ◆ 路面電車横川駅が駅前広場に移送されたことにより、JR駅と電停間の距離が115m短縮され、移動時間が約3分短縮されました。
- ◆ 横川駅前交差点の通過時間は、約6分短縮されました。
- ◆ 横川駅前交差点の事故件数は、約4割減少しました。
- ◆ 路面電車横川駅の朝ピーク時(7:00~9:00)の利用者が約1.7倍増加しました。
- ◆ 利用者の約8割が整備に満足しています。

整備効果

【電停移設による移動時間の短縮】

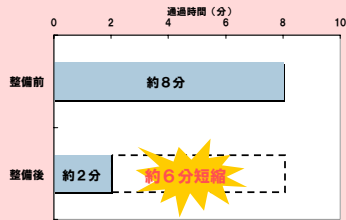


移動距離 140m → 25m

移動時間 3分短縮

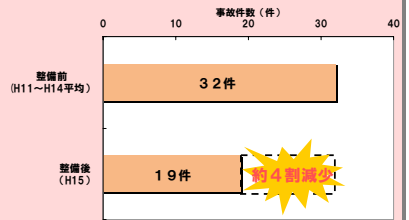


【横川駅前交差点の通過時間】



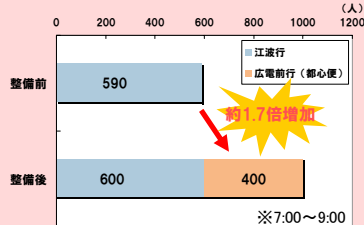
交差点通過時間が約6分短縮!

【横川駅前交差点の事故件数】



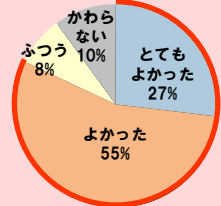
死傷事故件数が約4割減少!

【路面電車横川駅の朝ピーク時の利用者数】



利用者が1.7倍増加!

【満足度調査】



利用者の約8割が整備に満足!

STEP4

今後の取り組みは？

- ◆ ボランティア・サポート・プログラムによる住民と行政の協働や、地元住民によるイベントの開催など、住民と行政のパートナーシップや地域コミュニティの創出により、地域の活性化を図ります。

これまでに行われた地域住民によるイベントなど

【レトロバス復元イベント】



【横川ふしぎ市】



【ボランティア・ロード】

